

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会

発行 第25期 保土ヶ谷区民会議

事務局 〒240-0001

横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9

保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内

TEL 334-6221 FAX 333-7945

令和5年7月15日発行

第25期保土ヶ谷区民会議が新体制で発足

令和5年4月22日(土)開催の第25期保土ヶ谷区民会議総会において、代表委員小林由美子委員、副代表委員平本勉委員、川上吉夫委員、長山昌利委員、富田修一委員それぞれの再任、運営委員23名が承認され、総勢118名で第25期が発足しました。

【テーマ】「未来へつなごう！人にやさしいまちづくり」～すきです 保土ヶ谷 マイタウン～
【活動方針】

第25期保土ヶ谷区民会議は、区民自身の手による区民のためのまちづくりの場として、区民の声を反映し、「安全・安心で いつまでも住みつけたいまち ほどがや」を目指し活動します。

- 1.区民会議の基本理念「広聴・提言・行動・発信」のもと、情報の収集・交換・共有を図り民主的な話し合いを通して行動・発信につなげ、活動を進めます。
- 2.区民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、区民、行政、地区連合町内会（自治会・町内会）や、各種団体と連携を深め「顔と顔の見える関係」を大切に、地域のさまざまな課題の解決をめざし活動を進めます。
- 3.「地域のつどい」「区民のつどい」を開催し、身近な視点での区民の生の声を収集し、重要課題については行政に提言・要望して区政に反映していただき、地域に還元します。
- 4.区内で開催される各種委員会活動やイベント等に積極的に参加し、行政とのかかわりをより一層深めるとともに、区民会議の活動をアピールし区内における区民会議の知名度を更に高めていきます。
- 5.前期に引き続き分科会・委員会で専門分野別に活動し、その成果は区民や関連団体に発信するとともに、キャンペーンの実施や冊子の発行、啓発活動などを行い、行政にかかわる問題については提言をしてまいります。

代表委員あいさつ

日頃より区民の皆さまには、保土ヶ谷区民会議の活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

この度、保土ヶ谷区民会議は総勢118名の委員の下、上記のテーマ・活動方針を掲げ第25期がスタートいたしました。



今期も、環境・教育・交通・災害・福祉の分科会活動、「地域のつどい」・「区民のつどい」の開催、行政への提言・要望の提出と回答の地域への還元、「フードドライブ」「廃食油回収」の実施、等の活動を通じ、テーマである「人にやさしいまち」実現へ向けて活動を推進してまいります。

来年、保土ヶ谷区民会議は創立50周年を迎えます。区民会議だからできること、区民会議でしかできないこと、これからも区民の皆さまにとって必要とされる存在＝区民会議であり続けたいと願います。

今後とも、皆さまのご支援・ご協力よろしく申し上げます。

保土ヶ谷区民会議代表委員 小林 由美子

区長あいさつ

第25期保土ヶ谷区民会議の発足、誠におめでとうございます。

日頃から地域の様々な課題解決に取り組んでいただくとともに区民の皆さまと行政とをつなぐ大切な役割を果たしていただき、心より感謝申し上げます。

今期は「地域のつどい」をはじめ、対面型の活動を本格的に再開いただくなど、来年の区民会議発足50周年に向けて、これまで以上に活発な活動になるのではないかと期待しております。

区役所としましても、「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向けて、区民会議の皆さまと力を合わせて取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。



保土ヶ谷区長 神部 浩

環境分科会 第25期は9名の新しい仲間を迎えて総勢25名で活動してまいります。5月に第1回の会合を行い、活動テーマは前期に続いて「未来へつなごう水・緑・資源」とし、サブテーマも①自然環境②ごみ問題③エコ問題としました。

●自然環境の一例としての仏向や市沢の谷戸の見学を後半活動に行ないます。●ごみ問題では一例として鶴見資源化センターなどのごみ処理やりサイクル・リユースの現場見学をします。●エコ問題では一例として信愛エナジー（合）での廃食油加工や、大川印刷でのSDGsの取組みなどの現場見学をします。●講師を招いての勉強会をします。●「廃食油回収」を定期的に区役所前広場などで実施します。



教育分科会 第25期第1回教育分科会で、活動テーマは第23期・第24期と同様の「子どもは未来のためから 地域ぐるみで子育てを！」に決まり、活動内容は「あいさつ運動の推進」「教育現場の実情を知る」「地域の子育ての実情を知る」の3つの柱を中心に活動を継続することになりました。「あいさつ運動」のさらなる推進では、第24期末に作成した「ほどがやあいさつ運動ポスター」を自治会・町内会掲示板や小中学校、公共施設等に配布し、「あいさつがこだまする保土ヶ谷」の実現へ向けて啓発を図っていきます。

「教育現場の実情を知る」「地域の子育ての実情を知る」については、小中学校や地域の子育て支援施設の訪問を計画し、問題点を共有し改善を図っていきます。前期作成し大変好評だった「知っている役立つ地域の子育てQ&A」冊子の更なる充実も目指します。



交通分科会 第24期に於いて計画した交通安全全般のマナー・自転車の安全な乗り方等を動画やチラシ作成で高齢者、保護者、低年齢者に周知して頂くための資料集め動画再編集をしましたがコロナにより会議の減少にて未だ半ばです。遅滞している間に、キックボードの歩・車道可や自転車乗車時のヘルメット着用努力義務など、法令の改正が著しく改めて情報収集、研修を重ねて行きます。

1. 情報の収集・精査を行い、解りやすいチラシの内容、レイアウトの検討をして行きます。
2. 親しみやすさの中にリアルさも交えた動画の編集をします。
3. 法令・保険関係の講習会を開催します。

上記の配布先、上映先、会場の確保等を重点に早期に纏めるべく活動して行きます。



災害分科会 災害分科会は、「防災・減災の原点は自助・共助の実践から」をテーマに掲げ、区民の皆さまに役立てて頂ける情報提供を行ってまいります。主な活動は「DIG・HUGの出前講習会」の実施です。DIGとは、災害のDisaster（D）、想像力のImagination（I）、Game（G）の頭文字を取ったもので、災害を想定した地図上で行う訓練の一つです。HUGとは、避難所の（H）、運営の（U）、ゲームの（G）の頭文字を取ったもので、避難所の運営に生かす事ができる机上の訓練です。是非自治会等のグループ単位で区民会議事務局又は区役所総務課までお申し込みをお願いいたします。もう一点は、地震発生時の「安否確認について」「避難について」「家具転倒防止対策について」の防災減災冊子3部作改訂版発行に向けた作業の継続です。



福祉分科会 第24期で出来なかった分科会委員アンケート内容の具体化などの検討、勉強会・研修会・見学会等盛りだくさんの課題があります。これらの問題を分科会の皆さんと相談しながら少しずつでも良い方向に解決していきたいと思っております。また、ヤングケアラーや、ますます増えてくる高齢化社会の問題について、プライバシーを配慮しつつ、身近に出来ることは何か、行政と連携し「学び 考え 発信」し行動につながればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

